



# 地域と学校と社協ですすめる 始めよう！福祉教育

地域共生社会って  
なんだろう？

高齢の方、障がいのある方って  
どんな人だろう？  
何に困っているのかな？  
どうやって手助けしたら…？

ユニバーサルデザイン？  
バリアフリーと  
何が違うの？

地域の人と交流も  
できたらいいな

「まちのやさしさ発見」  
住みやすいまちづくりについて  
考える参考にしたい

色々な体験を通して  
学びを深め、  
視野を広げたい

あったか応援センター(ボランティアセンター)



社会福祉法人 東広島市社会福祉協議会

# 目次

- ①福祉とは？福祉教育とは？ … 2ページ
- ②キラッとかがやく★  
学校の取り組みをご紹介します！ … 3ページ
- ③福祉教育のことなら、まずは  
社協にご相談ください！ … 6ページ
- ④福祉の学習メニューについて … 7ページ
  - (目の不自由な方への理解を深める)
    - ・アイマスク体験 … 7ページ
    - ・点字体験 … 7ページ
    - ・音訳体験 … 7ページ
    - ・盲導犬の学習 … 8ページ
  - (耳の不自由な方への理解を深める)
    - ・手話体験 … 28ページ
    - ・要約筆記体験 … 8ページ
  - (足の不自由な方への理解を深める)
    - ・車いす体験 … 9ページ
  - (高齢の方への理解を深める)
    - ・高齢者疑似体験 … 9ページ
    - ・認知症サポーター養成講座 … 9ページ
  - (防災・減災への理解を深める)
    - ・避難所運営ゲームHUG … 10ページ
    - ・災害カードゲーム クロスロード … 10ページ
  - (その他)
    - ・福祉の職場魅力発見授業 … 11ページ
- ⑤令和3年度に福祉体験学習に取り  
組んだ学校・保育所をご紹介します … 12ページ

# これから福祉教育に取り組む皆さんへ

## 福祉とは？ 福祉教育とは？

「福祉」ってどんなことだと思いますか？

福祉の「福」と「祉」…どちらも「しあわせ」という意味

福祉（ふくし）…「**ふ**だんの**く**らしの**し**あわせ」

福祉は、高齢者や障がいのある方、何かに困っている人のための特別なものではなく、すべての人にとって大切なものです。毎日の生活の中で、色々な人と関わりながら、助けたり、助けられたりすることがあると思います。

自分たちが生活している地域が、誰にとっても住みやすい地域になるように、できることを皆で考え、お互いに支え合うことこそが「福祉」なのです。

「福祉教育」と聞いてどのようなことを連想しますか？

すべての人の「**ふ**だんの**く**らしの**し**あわせ」を実現させるためにどうしたらよいかを考え、周りの人たちと一緒に実践できるようにしていく「ともに生きる力」を育むことが福祉教育の目的です。

自分たちの生活している地域が、誰にとっても住みやすい地域になるようにするには、子ども、障がいのある方、高齢者、すべての人がそれぞれ役割を持ち、支え合いながら暮らせる地域を自分たちで作り上げていく必要があります。

そのことを、子どもの頃から「**自分ごと**」として意識し、地域社会の一員としての土台作りをするために、「福祉教育」は、学校のみだけでなく、地域の方々の力も活用しながら展開することが大切です。

参考：社会福祉法人 全国社会福祉協議会 全国ボランティア・市民活動振興センター「地域共生社会に向けた福祉教育の展開」（2019年10月）

子どもたちが自分たちの住む地域の課題を「**自分ごと**」として捉え、「**自分ができることは何か？**」と考え始めたキラッとかがやく学校の取り組みを、次ページよりご紹介します！





# キラッとかがやく★ 学校の取り組みをご紹介します！



東広島市立三永小学校 3年生 56名

## 学校のねらい

- 自分たちだけではなく、三永に住む人みんなが笑顔になるためには、「今自分たちに何ができるのかな」「こんなことができたらいいな」と児童に想像してもらいたい。
- 福祉体験学習を踏まえて、想像していたことが「どうやったら自分たちにできるだろうか」と児童に主体的に考えてもらいたい。

## 取り組みの内容

①自分たちの小学校がみんなが笑顔になれる場所か調べてみよう！  
(バリアフリー)

②車いすユーザーの「きよさん」に、学校で安心して過ごしてもらうために、自分たちにできることを考えよう！



③福祉体験学習(アイマスク、手話車いす、盲導犬、認知症サポーター養成講座)を通して、当事者の方の生活の中の困りごとを理解しよう！

⑤1年間を通して学んだこと、考えたことを、学習報告会で周りの人達に伝えて広めよう！

④自分たちの住む三永のみんなが笑顔になれるように、できることを考えてみよう！



児童が考えた「皆が笑顔になれる三永」を工作し、展示を行った



児童が講師になり、保護者にアイマスク体験を行った



盲導犬を増やせるように児童が学校で募金活動を行った



## 社会福祉協議会（社協）のお手伝い

- 企画の段階から学校と話し合い、プログラムや内容について提案。
- 当事者の方や地域のサークルの方に講師(ゲストティーチャー)を依頼し、学校とつなぐ。
- 民生委員児童委員に協力を依頼し、学校とつなぐ。
- 福祉教材の貸し出しを行う。
- 児童や学校から質問があった際は、その都度当事者の方や地域の方とつなぐ。



## 成果

- 三永に住む人みんなが幸せに生活するためには、お互いに理解し合ったり、支え合ったりすることが大切であると気づくことができた。
- 自分たちの住む三永を見つめ直し、自分たちにできることを考え、実践することができた。

## 取り組んだ児童の声

- 自分にもできることがあると分かった。みんなが笑顔になると自分も嬉しい笑顔になれる。
- まだまだいろいろなことを知りたい。4年生になっても、みんなのできることを増やしたい。



# キラッとかがやく★ 学校の取り組みをご紹介します！



東広島市立高屋東小学校 3年生 28名

## 学校のねらい

- 総合的な学習「福祉」の学習を通して、「多様性」や「共生」の社会について理解し、自分のできることを探そうとする意欲を育てたい。
- チームで課題を見つけ、自分たちで調べることにより、課題解決力やコミュニケーションの力を付けたい。
- 学習発表会で自分たちのできることを発表することで、表現の力や協働の力を付けたい。

## 取り組みの内容

①パラリンピックについて調べてみよう!(国語と関連)

②福祉体験学習  
(点字、アイマスク、車いす、手話、盲導犬)を通して、身体の不自由な人の生活を理解しよう!



③「まちのやさしさ、学校のやさしさ」(バリアフリー)を見つけよう!

⑤みんなが平等に、幸せに暮らせるように、自分たちにできることを学習発表会で発信しよう!



「高屋東やさしさパラリンピック」を開催し、自分たちでできることをみんなで一緒に考えることの大切さを発表

④みんなが幸せに暮らせるように、自分たちにできることを考えよう!



児童がチームになり、自分にできること、みんなで力をあわせてできることを考え、話し合う

手話や点字を使いながら!

## 社会福祉協議会(社協)のお手伝い

- 企画の段階から学校と話し合い、プログラムや内容について提案。
- 地域のサークルの方に講師(ゲストティーチャー)を依頼し、学校とつなぐ。
- 民生委員児童委員に協力を依頼し、学校とつなぐ。
- 学習発表会にて、児童のサポートを行う。
- 福祉教材の貸し出しを行う。



## 成果

- 「まちのやさしさ」に気づくことで、様々な立場の人が安心して生活できる工夫があることを実感することができた。
- 地域に住む人のために自分たちができることを考え、地域の一員としての自覚をもつきっかけとなった。

## 取り組んだ児童の声

- 困っている人が近くにいたら、「手伝えることはありませんか?」と言って、声をかけようと思う。
- 一人だと少し難しいことも、みんなで力を合わせて、協力をして頑張ることができると感じた。



# キラッとかがやく★ 学校の取り組みをご紹介します！



## 東広島市立吉川小学校 3年生 7名

### 学校のねらい

- 地域の魅力を様々な視点から捉え、地域のためにできることを自ら考えて実践し、ふるさとを大切に続けようという気持ちを持ってほしい。
- 吉川の「人・もの(場所)・こと」について興味を持ったことを調べ、吉川の良さを発信する活動を通して、探求的な学習に主体的に取り組んだり、友達や地域の方と協働したりしながら、地域に関わり続けようとする態度を育てたい。

### 取り組みの内容

①なぜ吉川が美しいのかを調べよう!(社会と関連)

②高齢者が多い吉川地域で自分たちができることを考えるために、高齢者疑似体験をしてみよう!



⑤学習の成果を振り返ろう!

④地域のために自分たちができることをやってみよう!

③吉川をもっとすてきな町にするために、みんなでアイデアを出し合って、自分たちでできることを考えよう!



「ぼくたち・わたしたちの吉川マップ」を作成



地域の方々と一緒に「吉川げんきプロジェクト」(ごみ拾い活動)を実施



地域の方々と一緒に「吉川元気プロジェクト」を計画

### 社会福祉協議会(社協)のお手伝い

- 企画の段階から学校と話し合い、プログラムや内容について提案。
- 地域のサークルの方に講師(ゲストティーチャー)を依頼し、学校とつなぐ。
- 民生委員児童委員に協力を依頼し、学校とつなぐ。
- 地域住民とともに、講師(ゲストティーチャー)として、研究授業に参加。
- 児童や学校から質問があった際は、その都度地域の方とつなぐ。
- 小学校区の地域懇談会であがった地域の方の声や思いを、学校や児童と共有。

### 成果

- 地域をよりよくするために、自分たちができることを考え、主体的に活動に取り組むことで、地域の課題を自分事として捉えることができた。
- 取り組みを通して、地域の魅力には、周囲の環境や地域の人、生活が密接に関係していることを学ぶことができた。

### 取り組んだ児童の声

- 吉川の良いところをたくさん知り、吉川をもっと元気にしたいと思うようになった。
- 自分たちにもできることを、みんなと話し合っで考えることが楽しかった。



# 福祉教育のことなら、 まずは社会福祉協議会（社協）にご相談ください！

地域の様々な人材や社会資源とのつながりをもっています！

社協は地域福祉をすすめる団体です。そのために福祉教育を大切に、学校を含めた地域のさまざまな場面で進められる福祉教育の推進を目指しています。

福祉教育は学校と地域が連携しつつ、地域全体で取り組むことが大切ですが、社協はそのつなぎ役を担うことができます。

## 社協がお手伝いできること

### ◎学習プログラム企画の提案

#### ○学習内容の企画

- ・学年に合ったプログラム企画の提案
- ・学校全体での企画の提案



### ◎講師(ゲストティーチャー)や施設の紹介・調整

#### ○地域のゲストティーチャーの調整

#### ○活動先・訪問先などの調整

(障がい当事者の方、福祉施設、自治会、民生委員児童委員ボランティアグループ、地域サロン、サークルなど)

#### ○社協職員の派遣



### ◎発表や振り返りの場づくり

#### ○学んだことの発表や振り返りの場づくり

- ・地域での発表の場(住民の集う場、地域の行事など)
- ・地域の方や様々な団体と話し合う場

先生方の思いを形にする  
お手伝いをします！  
まずはご相談ください





## 目の不自由な方への理解を深める

### ◆アイマスク体験

視覚障がいといっても、全く見えない(全盲)わけではありません。様々な見え方や全く見えない(アイマスク)体験をして、その時の気持ちを感じたうえで、目の不自由な方の生活のお手伝いを体験します。(2時間)

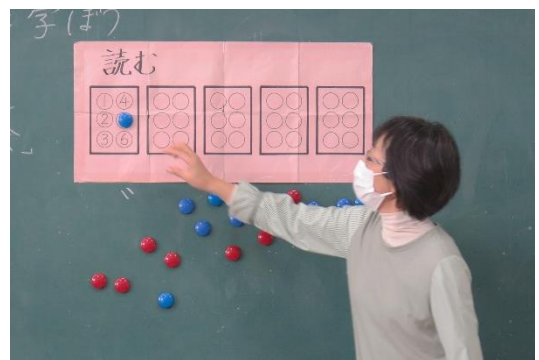
講師/協力団体 ・東広島市社会福祉協議会  
・市内福祉施設等



### ◆点字体験

「点字は身近なところにある」、「点訳をするときのルール」などのお話や、実際に自分たちの名前を点字で打つ体験を行います。(2時間)

講師/協力団体 ・点訳サークル



### ◆音訳体験

全ての視覚障がい者が点字を読めるわけではありません。また点字が読める人でも、簡単かつ早く情報を入手するために、文字をテープに録音する「音訳」が多く利用されています。

視覚障がい者の方に聞きやすい・分かりやすい読み方などの体験をします。(2時間)

講師/協力団体 ・音訳サークル

※交通費等として5,000円程度の実費負担  
をお願いします。





## ◆盲導犬の学習

「盲導犬とユーザーはどうやって歩くの?」、  
「視覚障がい者って?」、「自分たちにできるこ  
とは?」などについて、島根あさひ訓練センター  
の職員の方から教えて頂けます。

最後には、盲導犬とのふれ合いも…? (2時間)

講師/協力団体 ・公益財団法人日本盲導犬協会  
島根あさひ訓練センター

・東広島ウエストライオンズクラブ  
TEL : (082)422-5464



※小学校は、東広島ウエストライオンズクラブから  
3月に郵送されている案内をご覧ください。

## 耳の不自由な方への理解を深める

### ◆手話体験

聴覚障がいは、見た目ではわかりません。

「聞こえない人はどのような生活をしているの?」  
「伝える気持ちの大切さ」といった説明や、耳では  
なく、見て伝える「言語」である手話について学び  
ます。(2時間)

講師/協力団体 ・手話サークル

※交通費等として5,000円程度の実費負担  
をお願いします。



### ◆要約筆記体験

聴覚障がい者(特に中途失聴者や高齢者)の中には、  
手話ができない方も多くいます。

そうした方に話の内容などを文字で伝えるのが「要  
約筆記」です。

要約筆記のやり方や、言葉の伝わり方について学び  
ます。(2時間)

講師/協力団体 ・要約筆記サークル

※交通費等として5,000円程度の実費負担  
をお願いします。





## 足の不自由な方への理解を深める

### ◆車いす体験

車いすの基本的な操作方法をはじめ、使い方（乗る・押す）を学びます。段差や坂道を体験したり、車いすに乗った状態で通ってみたりします。実際に体験してみることで、たくさんの学びや気づきがあります。（2時間）

講師/協力団体 ・ 東広島市社会福祉協議会  
・ 市内福祉施設等



## 高齢の方への理解を深める

### ◆高齢者疑似体験

「高齢者になったら体の状態はどうか？」  
「どんな気持ちなんだろう？」  
筋力低下や関節の動きにくさを体験するような重りやサポーターを装着し、80歳位の身体を疑似体験します。体験を通じ、高齢者の気持ちを想像・理解します。（2時間）

講師/協力団体 ・ 東広島市社会福祉協議会  
・ 市内福祉施設等



### ◆認知症サポーター養成講座

認知症とはどういう病気？どうやって認知症の方と接すれば良いのかな？  
子どものうちから認知症についての正しい知識を身につけるとともに、誰もが安心して地域で暮らし続けることの大切さを学びます。（2時間）(高学年向け)

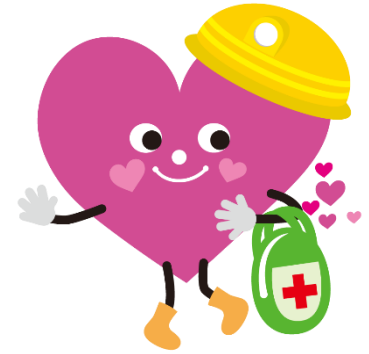
講師/協力団体 ・ 東広島市社会福祉協議会  
・ 地域包括支援センター





## 防災・減災への理解を深める

地域では、防災倉庫設置や防災訓練実施など、防災・減災に向けた様々な取り組みが行われており、様々な世代の参画が求められています。当会でも2つのプログラムを実施しており。こうした防災・減災の学習を通して、つながりが生まれることで、災害時に助けあえる地域を目指します。



### ◆災害カードゲーム クロスロード

「クロスロード」とは、「岐路」「分かれ道」のこと。災害対応は、「人数分用意できない緊急食料をそれでも配るか」など、ジレンマを伴う重大な決断の連続です。1995年の阪神大震災の際、神戸市職員が実際に対応した状況を基に制作されています。

トランプ大のカードを利用した手軽な「Yes/No」ゲームではありますが、災害対応を自らの問題として考えることや、自分とは「異なる意見・価値観の存在」への気づきも得ることができます。（時間応相談）  
（高学年向け）



講師/協力団体 東広島市社会福祉協議会

### ◆避難所運営ゲームHUG ～もしも、学校で避難所が開設されたら～

避難者やイベントの書かれたカードと、体育館や教室に見立てた用紙を用いて、どれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験するカードゲームです。

いざという時に備え、災害発生時の対応について、一緒に考えてみませんか。（2時間）（高学年向け）



講師/協力団体 東広島市社会福祉協議会



## ◆福祉の職場魅力発見授業

これからを担う子ども達に、福祉・介護の仕事の「必要性」や「魅力」「やりがい」を伝えます。

人と関わり、そして誰かの生活を支えるこの仕事は、他では決して感じることのできない喜びがあります。進路選択の参考や、福祉の仕事を知るきっかけ等にかがでしょうか。（1～2 時間）

- 講師/協力団体
- ・東広島市社会福祉協議会
  - ・市内福祉施設等
  - ・介護福祉士会



**社会福祉協議会では、児童・生徒が地域の方と共に過ごす機会づくりを行っています**



介護福祉士会による高齢者疑似体験

福祉教育は、地域のボランティアや民生委員・児童委員の皆さん、福祉施設で働く方々等の協力を得て実施しています。

地域の様々な方と共に学ぶことで、福祉の知識だけでなく、「地域でともに生きる」という事、すべての人が社会の大切な存在として尊ばれる事の意味をみんなで考えます。

# 令和3年度は

## 市内 29 の学校と保育所が 福祉体験学習に取り組みました！



寺西小学校 3年生

郷田小学校 3年生

板城小学校 3年生

三永小学校 3年生

東西条小学校 3年生

平岩小学校 3年生

御菌宇小学校 3年生

川上小学校 3年生

原小学校 3年生

吉川小学校 3年生

八本松小学校 3年生

西志和小学校 3年生

小谷小学校 3年生

高屋東小学校 3年生

造賀小学校 3年生

高美が丘小学校 4年生

乃美尾小学校 3年生

下黒瀬小学校 3年生

中黒瀬小学校 4年生

木谷小学校 4年生

松賀中学校 1年生

八本松中学校 1・3年生

高美が丘中学校 3年生

豊栄中学校 1・2年生

豊栄小学校 3年生

もみじ小中学校 5・6年生～

中学1・2・3年生

河内高等学校 3年生

河内西保育所 年中長

河内中学校 2年生

# 福祉教育のことなら

## まずは社会福祉協議会（社協）へご相談ください！

名称	所在地	連絡先
あったかひがしひろしま 応援センター	〒739-0003 東広島市西条土与丸 1108	TEL (082) 422-4075 FAX (082) 423-8525
あったかくろせ 応援センター	〒739-2612 東広島市黒瀬町丸山 1286-1	TEL (0823) 82-2026 FAX (0823) 81-0340
あったかふくとみ 応援センター	〒739-2303 東広島市福富町久芳 1545-1	TEL (082) 435-2247 FAX (082) 435-2098
あったかよさか 応援センター	〒739-2311 東広島市豊栄町乃美 2841-1	TEL (082) 432-2083 FAX (082) 432-2145
あったかこうち 応援センター	〒739-2201 東広島市河内町中河内 1206-1	TEL (082) 420-7011 FAX (082) 437-0281
あったかあきつ 応援センター	〒739-2402 東広島市安芸津町三津 4398	TEL (0846) 45-0201 FAX (0846) 46-0025

私たちは福祉教育の内容を充実させるため、新しい取り組みをしていきたいと考えております。先生のお考えや思いが“ヒント”になります。  
ぜひお近くの応援センターまで、思いやご意見を聞かせてください。



この事業は、東広島市社会福祉協議会会費・赤い羽根共同募金の配分金の活用など、地域の方の様々な支援で実施しております。